

学び続ける力を育む

— 学校と地域がつくる
これからの学び —



教育随想

愛知県総合教育センター
所長 渡部 純次 氏

予測が難しく、変化の激しい時代
にあつて、子供たちに求められてい
るのは、単に知識の量を増やすこと
ではありません。「自ら問いを立て、
仲間と関わりながら課題の解決へと
向かう力」であると強く感じていま
す。これからの社会では、未知の課
題に主体的に向き合い、学び続ける
力が一層重要になります。

学校現場では、子供たちの何気な
い会話の中に学びの芽が息づいてい
ます。「どうしてこの道は朝だけ混
むのかな」という疑問も、地域や社
会への関心を広げる入口となりま
す。こうした問いが教室の外へと広
がり、地域を見つめ直す学びへと発
展する姿も見られます。こうした気
付きの積み重ねが、自ら考え続ける
姿勢を育み、未来を生きる力へとつ
ながっていきます。

そのためには、教員自身が学び続



令和8年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
愛知県総合教育センター 所長 渡部 純次 氏	
この人に聞く……………	2
株式会社 鈴六 代表取締役 鈴木 和人 氏	
羅針盤……………	2
理科指導員(前生活総合指導員) 鈴木 大介	
ふれあい……………	3
額田中学校 教諭 加藤 茜	
特集……………	4
北山湿地 ~人の手によって守られる湿地の自然~	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
井田小の体力づくり(昭和52年)	
この本を……………	8



ける存在であることが欠かせませ
ん。授業を振り返り、同僚と語り合
い、互いに学び合う積み重ねが教育
の質を高めます。教員同士が支え合
う文化は、子供たちの学びを支える
基盤となります。

本年度、当センターは岡崎の地へ
拠点を移しました。歴史やものづく
りに支えられた地域には、企業や文
化施設など多様な教育資源がありま
す。地域の方々と直接関わる機会も
増え、「地域とともに歩むセンター」
でありたいという思いを一層強くし
ています。

教育は学校だけで完結するもので
はありません。当センターは、研
究・研修・相談の充実を図るととも
に、地域の教育資源を学校へつなぐ
役割を高めてまいります。教員の思
いと地域の力が重なり合うことで、
子供たちの学びは深まり、未来へと
広がっていきます。

これからも地域の皆様とともに、
新しい学びを育んでまいります。そ
の一步一歩が、子供たちの未来をよ
り確かなものにしていくと信じてい
ます。

(わたなべ じゅんじ)



声を集めてニーズに応える

株式会社 鈴木 代表取締役
鈴木 和人 氏

廃棄された古着の山が人の手によって仕分けられ、もう一度誰かが活用できる形に生まれ変わる。そんな循環を生み出しているのが、地域に根ざしたリユース、リサイクル事業を展開する鈴木六である。古着を資源として循環させる事業への思いを、鈴木社長に伺った。

—鈴木六の取組についてお聞かせください—

リサイクル原料は、組織的な回収が必要で、事業を同業者と進める中で合併や分社を経て、現在は古着が主な取扱品となりました。古着は、約六十%を海外に向けてリユースします。約二十五%はフェルト原料、約十二%はウエスに加工製造しており、最終的にごみとして処分するのは全体の約三%にすぎません。

古着は、入ってくる量や時期をコントロールすることができません。実際、回収ボックスに集まる古着の七十%は女性物で、流行があるためリユースにはあまり向きません。しかし、持続可能な取組とするには、利益を生み出す必要があります。古着をフェルト素材として自動車部品の一部にリサイクルしたり、土の代わりとして野菜を育てる素材として利用するなど、新しい取組を行うことで、資源を利益にしています。

また、古着を人の手で丁寧にかく仕分ける中で、古着屋への販売も始めました。例えば、古着の中から出てきた五十年前の男性用Gジャンは、染み抜き等をしてきれいに仕上げたところ、十一万円で売れました。大量に集まる古着から価値あるものをジャンルごとに分類し、加工して業者に卸す取組もしています。

—代表取締役として、大切にしていることはありますか—

声を集めることです。まずはお客様の声です。アンケートを取り、何が求められているかを見極め、手間を惜しまないことを大切にしています。例えば、古着の販売では、「服のジャンルが分けられていて見やすかった」との声をいただきました。

また、従業員の声を集めることも意識しています。古着の販売も従業員の「もったいない」から始まりました。新しいことにチャレンジするときは、従業員を集め、ブレインストーミングを行います。その中で声の重なった部分からコンセプトを考

え出し、新たな取組を行います。本社のホームページの「地域密着」という言葉も、従業員からの意見によって生み出されました。「地域密着」を掲げたことで、プロバスケットボールチームであるシーホース三河から古着の回収イベントの依頼をいただいたり、コメダ珈琲での回収ボックス出張イベントに協力させていただいたりするなど、様々な仕事の依頼が舞い込みました。従業員の声が新たな取組につながっています。

—リユースやリサイクルを通してどのような社会を作りたいですか—

リユースやリサイクルに対して、理解のある社会にしていきたいです。リユースやリサイクルは、可能性に満ちたきれいなものとして話をされることが多いですが、実際の作業現場は、油やほこりなどが多くあり、きれいなイメージとは異なります。しかし、一度使われたものの中にも、価値のあるものが眠っており、少し手間をかけることで、再び価値のあるものへと生まれ変わらせることができます。ただ、もう一度使うためには手間がかかります。そうした、リユースやリサイクルへの理解が広がる社会を目指し、本来に必要なとされるものを見極めて選び、限りある資源を有効に活用することで、持続可能な社会の実現に取り組んでいきたいと考えています。



氏名
鈴木 和人



気付きの質を高め、生活を豊かにする子供を育てるために

理科指導員(前生活総合指導員)

鈴木 大介

生活科は具体的な活動や体験を通して、自分の思いや願いの実現を目指す教科である。個別の気付きが仲間の気付きと関連付くことを気付きの質の高まりと捉え、重視している。

A教諭は、一年生「あきのすてきばんぱく」を題材に、秋の素材で作ったおもちゃで仲間と遊び合い、遊び方や展示品を見直す授業を行った。万博を模して、教室にはチームごとにパビリオンを出展していた。チケットや秋の素材で作られた看板等、題材に沿った環境構成により、子供は万博の世界に浸り込んでいた。導入でA教諭の「どんなすてきを伝えたいかな」との問いに、Bさんは首にかけたスタッフカードを見返し、「落ち葉の色と鮮やかさを伝えたい」という自分の思いを再確認した。次に、子供たちは互いのパビリオ



そつと背中を押すことで

額田中学校

教諭 加藤 茜

「中学校最後の一年、卒業のときにこの学級で本当に良かったと思える学級にしたいです。」

級友の前で緊張した表情でそう話したAさんは、前期の級長になった。「みんながもっと関わられるように朝の会で二分間トークをやりたいです」と、早速意欲を見せるAさんに、「いいね、みんなに提案してみたら」と背中を押した。しかし、級友の前で話すAさんの表情は硬く、彼の熱意が伝わっていないように感じた。

ある日、個人面談の中でAさんが、「僕、自信がないです。みんなはどう思うのかなって考えてしまってます」と、悩んだ様子で私に打ち明けた。Aさんは日頃から面倒見がよく、進んで級友の手助けをする生徒だ。級友にとってAさんの存在は大きい。だが、彼はそれに気付けていない。級

友から信頼されていることを知り、自信をもってほしいと願ひ、Aさんとの面談の時間を増やし、話を聴こうと考えた。悩みを打ち明けてくれたAさんに、「Aさんの言葉はみんなに届いていると思うよ」と伝えると、照れながらもうれしそうな表情になった。その後も、面談の中で何度も「自信がない」と話すAさんに、助言や励ましの言葉を繰り返し伝えた。

二期になり、文化祭が近づいてくると、「学級のみんなで生徒会ステージに出たい」と、Aさんが口にするようになった。私は「いいね、みんなに聞いてみたら」と促した。

だが、結局は仲のよい四人で出場することに決まった。すぐに私は「みんなに声をかけたの。本当にそれでいいの」と、Aさんに尋ねた。すると、「いや、みんなを巻き込む自信がなくて」と返ってきた。私がさらに、「みんなの中にもAさんに声をかけてほしいと思ってる子はいらっしゃるよ。みんなの背中を押してあげて」と返すと、Aさんはしばらく考え、「グループの三人に自分の思いを伝えてみます」と答え、帰って行った。

翌日の朝の会で、四人は級友の前に立った。Aさんが「最後の文化祭、みんなで思い出を作りたいから、みんなでステージに出よう」と呼び掛け、他のメンバーも「お願いします」と声をそろえた。それを聞いた級友の、「うん、やろう。みんなで出るな

ら楽しそう。思い出を作ろうよ」との言葉に、Aさんたちは顔を見合わせてうれしそうな表情を見せた。

Aさんたち四人を中心に練習が始まった。級友の前で話すAさんに、自信のなさそうな表情はもうなかった。練習が進んだある日、Aさんが弾むような笑顔で、「一緒にステージに出てください」と、私に声をかけてくれた。私は二つ返事で承諾した。

一生懸命に級友をリードするAさんたちと、それに応えようと必死に練習に励む子供たち。生徒会ステージは大成功に終わった。

その日の帰りの会。「一緒にみんなをリードした仲間、それに応えてくれたみんな、そして背中を押してくれた先生に感謝します。この学級で本当によかった」と、Aさんは目を輝かせ、自分の思いを伝えきった。



ンを体験し、気付きを伝え合った。「ファッションパビリオン」で落ち葉の服を展示したBさんは、スタッフになりきって友達に自作の服を勧めた。体験活動後、子供たちは気付いたことをコメントカードに書き、パビリオンごとに掲示して共有した。

A教諭は、仲間の気付きから改良方法を見出せるよう、「このカードから、どんな作戦が考えられるかな」と一枚のカードを提示した。次々に意見が出され、子供たちは、仲間の気付きから多様な考えが生まれることを理解した。Bさんは、「服の新聞が見えないようにしたらいいよ」という友達の意見を基に、「落ち葉をもっといっぱい貼りたい」と考えを記した。落ち葉で服を作れば、葉の色や鮮やかさが伝わるという自分の気付きと、仲間の気付きを基に捉え直した自分の服の現状とを関連付け、改良点を見出した。Bさんの気付きの質の高まりが伺える記述であった。

このような気付きの質を高める授業を展開するには、教師が授業における学びを明確にした上で、子供が自ら気付けるように支援を講じることが肝要だ。また、子供が活動に没頭できる環境の設定も欠かせない。これらの支援によって、子供は思いや願いを実現する一連の活動の中で、自分の生活を豊かにしていく。



▲自然観察会の様子

北山^{きたやま}湿地は、岡崎市池金町にある尾根の谷間に位置する。市内で最も古くから残るミズゴケ類を主体とした湿地群である。低く連なる山の起伏の間から複数の小さな水の流れが生じ、緩やかな傾斜をたどって流れる中で各所に水が停滞し、十一箇所（マップA～K）の湿地が形成された。

北山湿地には、トウカイコモウセンゴケやモウセンゴケなどの食虫植物が生育している。春にはハルリンドウの花を広い範囲で見ることが出来る。また、夏には湿地特有の昆虫の代表種であるハッチョウトンボが、数多く確認されている。

希少な動植物を守るため、さまざまな団体が協力して湿地の保全活動に取り組んでいる。二〇二三年には、岡崎市と「おかざき湿地保護の会」「岡崎市動植物調査会」の三者で構成する「おかざき湿地保全活用協議会」が設立され、除草や樹木の伐採、草刈り、木道や散策道の整備、看板・防護柵の設置などの保全作業を行っている。また、ヒナノシャクジョウ、ギフチョウなどの調査をしたり、湿地の動植物に親しむ自然観察会を実施したりしている。さらに、愛知県立岡崎高等学校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）部は、「おかざき湿地保護の会」と協力し、環境整備や希少な動植物の調査、湿地保全に関する研究活動を行っている。東海中学校の自然科学部も保全作業に参加し、草刈りや水害からギフチョウを守る活動に取り組んでいる。

北山湿地に生育する植物や生物の多くは、湿地という特別な環境でしか生きることができず、人の手による保全が必要である。湿地の生態系を守るために、これからも市民が協力し合い、豊かな岡崎の自然を未来へつないでいきたい。

東海中学校自然科学部の活動



▲刈り取った草を運ぶ様子

毎月第3土曜日に開催される保全活動に参加し、湿地の草刈りを行っている。



▲土のうを作る様子

ギフチョウの卵やさなぎを水害から守るために、生息地に土のうを積んでいる。

【東海中学校の生徒の声】

北山湿地を訪れ、そこに息づく植物についてもっと詳しく知りたいと考えています。また、絶滅の危機にある生物を、私たち自身の手で守り、未来につないでいきたいです。

【北山湿地保全活動の足跡】

- 1979年 乱開発防止と水資源確保のために、水源涵養林として岡崎市が購入
- 2000年 岡崎市環境部主導で、一般市民のボランティアによる保全活動を開始
- 2001年 環境省より「日本の重要湿地500」に指定
- 2007年 おかざき湿地保護の会設立
- 2008年 岡崎市自然環境保護区に指定
- 2016年 岡崎市の天然記念物に指定
- 2017年 愛知県の天然記念物に指定
- 2019年 おかざき湿地保護の会が環境大臣賞を受賞
- 2023年 おかざき湿地保全活用協議会設立（岡崎市動植物調査会・おかざき湿地保護の会・岡崎市）

北山湿地
マップ



岡崎高等学校SSH部の活動



▲植物を調査する様子



▲再生事業の様子

北山湿地を代表する植物



▲ハルリンドウ

(開花時期：春) **NT**
A 湿地で見られ、春の北山湿地を青色の可憐な花で彩る。



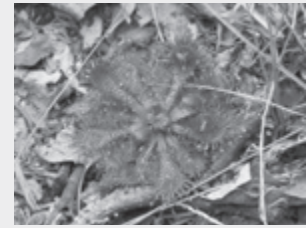
▲ナンカイワカガミ

(開花時期：春) **NT**
A 湿地の山肌に群生地があり、白色の美しい花を咲かせる。



▲モウセンゴケ

(開花時期：夏) **NT**
A 湿地の内部や水分の多い所に生える食虫植物である。



▲トウカイコモウセンゴケ

(開花時期：夏)
東海地方に見られる食虫植物で、A 湿地周辺に生えている。



▲ヒナノシャクジョウ

(開花時期：夏) **VU** **VU**
県下に生育地の少ない貴重な植物。A 湿地から B 湿地で見ることができる。

北山湿地を代表する生き物



▲ギフチョウ

(3月～4月) **NT** **NT**
里山の春の女神と呼ばれ、湿地の入口からやなが沢池周辺で多く見られる。



▲ハッチョウトンボ

(6月～8月) **NT**
体長は約18mm。日本で最も小型のトンボで、A 湿地に生息している。

北山湿地を代表する苔



▲オオミズゴケ

NT
北山湿地を広く覆っているのがオオミズゴケで、この特徴のひとつになっている。



▲ハリミズゴケ

VU
北山湿地の水道沿いに生えている。

VU 愛知県絶滅危惧Ⅱ類

VU 岡崎市絶滅危惧Ⅱ類

NT 愛知県準絶滅危惧

NT 岡崎市準絶滅危惧



●少年自然の家だより

少年を自然に還す

所長 高橋 誠

自分が「じいじ」になる時代には、車は透明なチューブの中を浮遊して走り、メタリックな服を着て月旅行に行き、家事全般はロボットが担う生活をしていると思っていた。だが、残念ながらもまだまだ実現していない。もしも、子どもが、現代にタイムスリップして来たら、数日もすれば適応できてしまうくらいの変化しかしていない気がする。でも逆に、現代の誰か小学生が、五十五年前にタイムスリップしたら適応できるか。そちらの方は心配だ。子どもが自然に還って「遊ぶ力」は、減退していると感じるからだ。そこで自然の家では、いつ

タイムスリップしても大丈夫なように、自然に還って「遊ぶ力」をつける活動を、今も提供し続けている。

一つ目は、舞切り式火熾し器を使った「火熾(おこし)体験。十字型の道具を使って、摩擦により火種を作る活動である。日常生活で「炎」を見る機会が激減し「火離れ」が加速している。そんな中、自分の力で原始的に火を生み出すのが、この「火熾し」である。簡単には着火に至らず、チームで汗を流しながら協力して行う。着火できた際には「着いた」と歓声上がる。これが「遊びで学びで生活」。この炎で作るカレーは一味違う。

二つ目は、「落ち葉と小枝で焼き芋」活動。今や街なかで、童謡「♪焚火だ焚火だ落ち葉炊き♪」などやろうものなら大迷惑となるが、本所ならそれが可能。実は、どの学校にも、夢中になって火の中にずっと小枝を入れて燃やし続ける子と、一心不乱に鉦で薪を割り続ける子がいる。それが両方とも思う存分できるのだ。参加者には楽しいし

おいしいし、「こういう、ちょっと危なくて叱られそうなことがしたかった」と、大好評である。

「タイムスリップ」を「災害時」に読み替えれば、これらの活動の意義や価値も変わってくる。「遊ぶ力」と「学ぶ力」、「生きる力」は三位一体。開所以来四十九年、唯一無二の場所として、これからも子どもを自然に還し続けていく。

●表彰



◆令和7年度学校関係緑化コンクール

○学校環境緑化の部
特選
形埜小



令和8年度 第1回岡崎市中学生体育大会 Spring CUP

団体結果

種目	性	優勝	2位	3位	種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	岡崎SOUTH	岡崎MUTSUMI	岡崎NORTH	剣道	男	岡崎WEST	岡崎SOUTH A	岡崎CENTRAL A
	女	岡崎SOUTH	岡崎CENTRAL	岡崎竜美		女	岡崎WEST A	岡崎SOUTH A	岡崎NORTH
バスケットボール	男	岡崎WEST A	岡崎葵城 A	岡崎竜美 A	ハンドボール (女子はオープン競技)	男	岡崎CENTRAL	岡崎WEST	岡崎SOUTH
	女	岡崎SOUTH A	岡崎NORTH A	岡崎竜美 A		女	岡崎ALL		
バレーボール	男	岡崎WEST A	岡崎NORTH A	岡崎CENTRAL	軟式野球	男	岡崎SOUTH A	岡崎竜美 A	岡崎葵城 A
	女	岡崎CENTRAL A	岡崎EAST A	岡崎葵城 A		ソフトボール	女	岡崎NORTH	
ソフトテニス	男	岡崎EAST	岡崎WEST	岡崎NORTH	柔道	男	岡崎WEST		
	女	岡崎WEST	岡崎竜美	岡崎EAST		女	団体戦は実施しない。		
卓球	男	岡崎WEST	岡崎MUTSUMI	岡崎竜美	サッカー	男	岡崎EAST	岡崎WEST	岡崎SOUTH A
	女	岡崎NORTH	岡崎竜美	岡崎SOUTH		男	岡崎 I A	岡崎 II B	岡崎 I C
					弓道 (オープン競技)	女	岡崎 I D	岡崎 II B	岡崎 I A

陸上競技

種目	氏名	チーム名	記録
男子	100m	一柳 柊	岡崎MUTSUMI 11"59
	200m	岸本 鈴士	岡崎葵城 24"83
	400m	中村 流快	岡崎NORTH 52"39
	800m	柵木 快心	岡崎MUTSUMI 1'55"61★
	1500m	菱田 貴助	岡崎CENTRAL 4'26"73
	3000m	福田 桜介	岡崎SOUTH 9'40"81
	110mH	小嶋 永音	岡崎MUTSUMI 16"43
	4×100mR	深見・藤井 中村綾・中村流	岡崎NORTH 45"64
	走高跳	市川 湊	岡崎MUTSUMI 1m70
	走幅跳	安藤 和真	岡崎MUTSUMI 5m95
砲丸投	林 琉恩	岡崎葵城 10m94	

種目	氏名	チーム名	記録
女子	100m	柴田 沙和	岡崎竜美 13"15
	200m	増田陽菜莉	岡崎SOUTH 27"28
	800m	瀬尾 心捺	岡崎CENTRAL 2'25"48
	1500m	柴田 和佳	岡崎竜美 4'42"07★
	100mH	山崎 璃海	岡崎葵城 15"51
	4×100mR	近藤・神田 鈴木・森田	岡崎CENTRAL 51"18
	走高跳	森田 あお	岡崎CENTRAL 1m50
	走幅跳	近藤 彩	岡崎CENTRAL 5m24
	砲丸投	浅田 優空	岡崎SOUTH 10m27

★…大会新記録

個人競技(1位のみ)

階級	氏名	チーム名	
柔道男子	軽量級	小笠原 新 岡崎WEST	
	軽中量級	田中 瑛大 岡崎WEST	
	中量級	鈴木 健心 岡崎EAST	
	重量級	白井 啓太 岡崎WEST	
柔道女子	軽量級	高山さくら 岡崎ALL	
	軽中量級	竹本 華乃 岡崎ALL	
	中量級	鄒 雨辰 附属	
男子	種目	氏名	チーム名
	弓道	柴田貴一郎	岡崎 I
	ソフトテニス	片山・森	岡崎EAST
	卓球	岡本 好佑	岡崎WEST
女子	種目	氏名	チーム名
	弓道	荻野宇瑠波	岡崎 I
	ソフトテニス	太田さ・太田未	岡崎WEST
卓球	小堀 葉奈	岡崎SOUTH	

<令和8年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【応用編】【発展編】、【ブラッシュアップ研修】>

1【基礎編】

①7月22日(水) 午後

研修番号	研修名	会 場
1	算数・数学	総合学習センター
2	学習情報	総合学習センター
3	保健	総合学習センター
4	英語	総合学習センター
5小	理科	(小学校講座) 矢作南小学校 理科室
5中	理科	(中学校講座) 愛宕小学校 理科室
6	体育・保健体育	翔南中学校 体育館

②7月28日(火) 午前

研修番号	研修名	会 場
7	特別支援	総合学習センター
8	特別活動	総合学習センター
9	道徳	総合学習センター
10	社会	男川浄水場
11	技術 (【応用編】含む)	新香山中学校 パソコン室
12	家庭	六ツ美北中学校 調理室

③7月28日(火) 午後

研修番号	研修名	会 場
13	国語・書写・図書館	総合学習センター
14	外国語	総合学習センター
15	音楽	総合学習センター

④7月31日(金) 午前

研修番号	研修名	会 場
16	総合	総合学習センター
17	図画工作・美術	総合学習センター
18	生徒指導	総合学習センター
19	生活	北野小学校 理科室・体育館

2【応用編】

①7月23日(木) 午前

研修番号	研修名	会 場	講 師
1	算数・数学	総合学習センター	神谷尚希・国分貴寛
2	国語・書写・図書館	総合学習センター	石川俊之・白形奈穂
3	外国語	総合学習センター	渡邊康平・鋤柄由恵
4	英語	総合学習センター	鋤柄由恵・渡邊康平
5	道徳	総合学習センター	米坂達也
6	理科	自然科学研究機構	竹内 翔・鈴木大介
7	体育・保健体育	翔南中学校 体育館	大野孝輔・稲吉晃一

②7月24日(金) 午前

研修番号	研修名	会 場	講 師
8	社会	総合学習センター	平岩大督・内藤恵三
9	学習情報	総合学習センター	太田尚志・鈴木広樹
10	特別活動	総合学習センター	宮澤元紀
11	生活	総合学習センター	内田裕斗
12	家庭	六ツ美北中学校 被服室	鈴木尚美

③7月28日(火) 午前

研修番号	研修名	会 場	講 師
13	生徒指導	総合学習センター	山本公三・田中友二郎

④7月29日(水) 午前

研修番号	研修名	会 場	講 師
14	特別支援	総合学習センター	橋本啓子・松田優佳
15	図工・美術	総合学習センター	浅井優子・浅井有紀
16	保健	総合学習センター	竹下麻由美
17	総合	総合学習センター	金澤 徹
18	音楽	総合学習センター	近藤雄介・伊豫田美奈子

3【発展編】

①7月23日(木) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
1	研究推進研修	総合学習センター	手島 英樹
2	授業指導研修	総合学習センター	大本 満子
3	保健・衛生推進研修	総合学習センター	畠中 恵実
4	食育推進研修	総合学習センター	永田 祐己

②7月24日(金) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
5	生徒指導推進研修	総合学習センター	青木 貴之
6	学年経営推進研修	総合学習センター	鈴木 大
7	日本語教育推進研修	総合学習センター	小山 岳彦

③7月29日(水) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
8	特別支援教育推進研修	総合学習センター	川原場仁子
9	ICT教育推進研修	総合学習センター	内田 雅之
10	学習評価研修	総合学習センター	深津 伸夫

<ブラッシュアップ研修>

①7月23日(木) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
A	子どもの発達や生活の変化を踏まえた課題	総合学習センター	永田 勲
E	ICT研修	総合学習センター	杉坂 和俊 河合 泰宏

②7月24日(金) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
C	学習指導要領の改訂の動向等	総合学習センター	金指由香里
D	学校における危機管理上の課題	総合学習センター	杉田 吉男

③7月29日(水) 午後

研修番号	研修名	会 場	講 師
B	国の教育政策や世界の教育の動向	総合学習センター	稲垣 幸一

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談(SNS)
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan 
あいちこころのサポート相談(SNS)	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	
愛知県総合教育センター教育相談	0564-83-9743	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

井田小の体力づくり (昭和52年)

写真提供：井田小学校

写真は、昭和五十二年九月に行われた研究発表会「井田小の体力づくり」での、十分間運動の様子である。子供たちが順序よく遊具の上を飛び跳ねながら進んでいる。井田小学校は、昭和五十二年四月から、学校環境を整備して健康で心豊かな児童を育成する取組を始めた。校地には、児童のアイデアを生かし、古タイヤや古電柱等を利用して作ったユニークな遊具等を配置した。その中を児童は裸足で走り回り、楽しく体力づくりに励んだ。

子供の健やかな成長に、遊びや環境が与える影響は大きい。のびのびと体を動かせる環境の中で、体を使う感覚を養うとともに、仲間と関わり豊かに心を育んでいく。



・カ
ツ
ト
矢作東小
杉浦彩貴



*君はどう生きるか
講談社

鴻上 尚史
¥1,200

心に残った一文

今、必要なのは、相手に同情する「シンパシー」じゃなくて、相手の立場に立てる能力「エンパシー」なんだ。

「『論破』の反対語の『対話』は、ただ言葉を交わすことじゃないんだ。『対話』と、『ただ話しただけ』の違いを説明するね」著者は10代の子を想定して、分かりやすい言葉で、具体例を出しながら、よりよく生きるヒントを与えてくれる。

「コミュニケーション」「スマホ」「友達」「ルッキズム」「いじめ」などをテーマに、示唆に富む言葉が並ぶ。大人が読んでも思わず納得させられる。日々、子供たちと向き合う私たちが言葉かけに迷うとき、本書が助けになるだろう。

*デジタル脳クライシス

酒井 邦嘉
朝日選書 ¥900

*アボカドの種

俵 万智
角川書店 ¥1,400

*その島のひとたちは、ひとの話をきかない

森川すいめい

青土社 ¥1,800
六ツ美北中学校 成田 隆行

保全活動が行われることにより、北山湿地の生態系は守られている。夏季には、湿地特有の環境の中で、県内でも生育地が限られる希少植物「ヒナノシヤクジョウ」や、日本で最も小型のトンボ「ハッチョウトンボ」を観察することができる。

ぜひ現地を訪れ、湿地の豊かな自然を実際に肌で感じてほしい。

遠くの夜空に、今も昔も輝き続ける天の川。世の流れと共に人々が願うものは変わっても、七夕の夜に星を眺め、短冊に各々の願いを込める子供たちの姿は変わらない。「子供たちの幸せ」。時代が移り変わろうとも、私たち教師が願うものは変わることはない。子供たちに寄り添い、支え続ける教師でありたい。

どホ ツ

文目

積み重ねられた大量の古着は、人の手によって仕分けられ、手を加えられることで、新たに価値付けられ、生まれ変わる。求められているものを見極めることや、限られた資源を無駄なく有効に活用することの大切さを改めて感じた。

限りある資源を生かす営みへの理解が、さらに広がることを願う。



▲着衣泳講習会 (上地小)